

令和4年4月25日

保護者様

子どもの心の声を聴く

猪名川町立松尾台小学校

スクールカウンセラー山崎裕介

春和の候 保護者様におかれましては益々のご清祥のこととお喜び申し上げます。

国立成育医療研究センターが昨年2月から3月にかけて実施した「**第五回 コロナ×子どもアンケート**」によりますと、半数以上の子どもたちが「**コロナの影響で先生や大人に話しかけたり相談したりしづらくなっている**」と感じていることが明らかになりました。

専門家は「コロナ禍で大人に余裕がなく、子どもが話し掛けたり相談したりすることを遠慮している。マスクの着用やソーシャルディスタンスの確保も求められ、声を掛けにくいこともあるのでは」と分析しています。このような状況下で子どもを孤立させないために、安心して話ができる雰囲気作りが必要になります。

以下、子どもが安心して話が出る雰囲気を作るためのコツをまとめてみます。

① 時間と場所を共有する

無理に喋らそうとしても子どもは喋ってくれません。子どもを見守り、寄り添う時間を増やしましょう。そして、子どもが喋りだすのを待ちましょう。

② 楽しみを共有する

一緒に音楽を聴いたり、テレビや動画を観たり、ゲームをしたり、運動をしたりして「**楽しい時間**」を共有しましょう。楽しみを共有すると大人と子どもの心の距離がグッと縮まります。

③ 話を聞ときは「横並び」で

子どもは大人と面と向かって話をすると緊張することがあります。一対一のときは**横並び**が一番気楽に話せます(バーや居酒屋でもカウンターで横並びが一番話が弾みますね)。子どもを横に乗せてドライブしながら話をするのも有効です。

④ 聴き方のコツ

子どもが話し出したら相槌を打ちながら、否定せずにひたすら聴きましょう。このような聴き方を「**傾聴**」といいます。以下の三点を意識しましょう。

- ア) 相手の話を遮らない。
- イ) 相手の話を否定しない。
- ウ) 相手の話題を盗まない。

この様な状況ではありますが、皆様には健やかにお過ごしになれますようお願いいたします。